

第 23 回歴史地震研究会

1896年明治三陸地震津波から110年を迎える2006年、歴史地震研究会は岩手県大船渡市との共催で9月15日(金)～16日(土)に研究発表会を行ないました。また、16日午後には三陸の歴史上の津波と防災対策、およびインド洋大津波などに関する公開フォーラム【三陸の津波と防災】を、17日(日)には大船渡市の歴史津波記録と津波防災施設をめぐる巡検を行ないました。詳細は以下の通りです。なお、研究発表会ならびに公開講演会は、市内の大船渡プラザホテルにて行われました。

プログラム

9月15日(金) 研究発表会



写真左：開会式，右：口頭発表風景

09:00～09:15 開会挨拶

甘竹勝郎大船渡市長・都司嘉宣歴史地震研究会会長

09:15～09:40 大船渡市所蔵のチリ地震津波による市内被災状況写真の見学

09:40～12:00 口頭発表

セッション1【江戸以西の歴史地震】座長：植竹富一

1. 都司嘉宣

大阪府における宝永地震(1707)、および安政南海地震(1854)の詳細震度分布

2. 黒崎ひろみ・中野 晋・小川宏樹・大谷 寛・大奈 健・川田一昭・村上仁士

体験談に基づく昭和南海地震の震度評価とその性別や年齢による違い

3. 松浦律子・中村 操・唐鎌郁夫

江戸時代の歴史地震の震源域・規模の再検討作業— 飛越地震など8地震について —

4. 小松原琢・西山昭仁

寛文二年近江・若狭地震における都市被災地区の歴史地理的沿革

セッション 2【歴史地震の解析】座長: 松浦律子

5. 武村雅之

震度データから歴史地震の震源過程を考える

6. 中村亮一・八代和彦・植竹富一

震度データを用いた震源深さの決定の可能性 — 三次元減衰構造を用いた検討 —

7. 中村亮一・植竹富一・佐竹健治・遠田晋次・宇佐美龍夫・島崎邦彦・渡辺 健

関東地域の異常震域現象と三次元減衰構造— 1855 年の安政江戸地震の震源深さの解釈 —

8. 植竹富一・野田厚子

1933 年昭和三陸地震による関東平野の長周期地震動

9. 中村 操・古村孝志・早川俊彦・馬場俊孝

東南海地震・南海地震の関東での揺れの再現

13:00~13:30 ポスター発表【三陸沖の巨大地震】

10. 澤井祐紀・宍倉正展・岡村行信・松浦旅人・Than Tin Aung・小松原純子・藤井雄士郎

堆積物から復元した宮城県中南部における貞観津波の浸水域

13:30~17:00 口頭発表

セッション 3【歴史津波 1】 座長: 今村文彦

11. 安藤雅孝・Irwan Melano・木股文昭・奥田 隆・ジョグジャカルタ地震観測グループ

2006 年インドネシア・ジョグジャカルタ地震のメカニズムと歴史地震

12. 宍倉正展・Cristian Youlton・澤井祐紀

1960 年チリ地震に伴う余効変動 — 過去 45 年間の上下変動量 —

13. 石辺岳男・島崎邦彦

プレート間地震の活動から見た固有地震モデル

セッション 4【歴史津波 2】座長: 西山昭仁

14. 中西一郎

宝永地震(1707)の震源域について

15. 伊藤純一・都司嘉宣

関東地方沿岸の「謎の津波」— 慶長(1605)と延宝(1677)の房総沖津波の新史料

16. 都司嘉宣・行谷佑一・伊藤純一

歴史上に起きた三陸沖、および宮城県沖地震の震度・津波浸水高分布の特徴

17. 井若和久・田邊 晋・大谷 寛・上月康則・村上仁士

田井家「震潮記」にみる徳島県宍喰の地震・津波について~ 1854 年安政南海地震を対象に~

18. 北原糸子・諸井孝文「関東大震災の写真と地図のデータベース」

セッション 5【歴史津波 3】座長: 都司嘉宣

19. 羽鳥徳太郎

宮城県沖津波による伝播の屈折効果

20. 羽鳥徳太郎

南千島～北海道東部間の歴史津波の規模と波源域

21. 竹内 仁・藤良太郎・三村信男・今村文彦・佐竹健治・都司嘉宣・宝地兼次・松浦健郎

延宝房総沖地震津波の千葉県沿岸～福島県沿岸での痕跡高調査

22. 原口 強・呉屋健一・今泉俊文

岩手県大船渡市基石浜の津波堆積物

18:30～21:00 懇親会

9月16日(土) 研究発表会(つづき)

09:15～12:00 口頭発表

セッション 6【被害記録と震災対応】座長: 白石睦弥

23. 松岡祐也

文禄五年伏見地震での伏見城下武家地の被害状況

24. 河内一男

寛文越後西蒲原の地震について

25. 西山昭仁

元禄地震(1703)における江戸での震災対応

26. 諸井孝文・武村雅之

1923年関東地震における人的被害 — 旧東京市と旧横浜市 —

27. 北原糸子

災害写真 — 19世紀末から20世紀へ

セッション 7【地震・津波防災】座長: 諸井孝文

28. 山本尚明

瀬戸内海における自治体の津波危険度に関する考え方およびその対応について — 香川県の場合 —

29. 林 能成・木村玲欧

1945年三河地震における前震および余震対策の避難

30. 木村玲欧・林 能成

インタビュー調査から明らかになった被害者心理と行動パターン — 災害発生後1000時間 すまいとくらしの再建 —

31. 林 信太郎・赤塚 綾・伊藤英之

火山警戒避難のゲーミングシミュレーション「リブラ2 — ありす火山の噴火」

32. 山下文男

盛岡気象台と宮古測候所の防災啓蒙資料(1957)『津波対策いろはかるた』について

9月16日(土) 13:00～16:00 公開フォーラム【三陸の津波と防災】



写真左:講演風景, 右:公開討論の様子

コーディネーター:伊藤和明

講演:

1. 今村文彦 「2004年12月26日インド洋津波の被害と教訓」
2. 佐藤健一 「津波警報発令時の住民の早期避難の問題点
— 平成15年5月26日宮城県沖地震の気仙沼での経験をふまえて —」
3. 都司嘉宣 「江戸時代までの三陸・遠地津波事例を考慮した大船渡市の津波対策」
4. 山下文男 「明治と昭和, 三陸津波の歴史的な教訓」

公開討論

16:30～18:00 歴史地震研究会総会

9月17日(日) 野外見学会



写真左:綾里水合の津波記念碑前にて, 右:赤崎公園にて
(大船渡市防災管理室志田様撮影)

案内者: 山下文男・今村文彦・北原糸子・都司嘉宣

08:30 バス出発

洞雲寺: 明治三陸地震津波犠牲者の位牌と記念碑

綾里港地区および岩崎地区: 高所移転集落

綾里水合: 明治三陸津波における最高波高地点・電柱に記された水位表

綾里白浜: 津波防潮堤と津波に注意の銘板

合足: 被災集落の復興

赤崎公園: 「地震があったら津波に用心」の記念碑

おさかなセンター: 大船渡湾展望

丸森: 大船渡湾口防潮堤

15:30 ごろ 一ノ関駅解散